



内 容

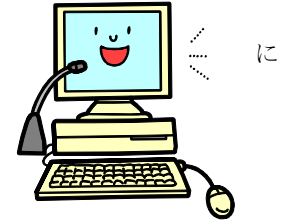
家庭分野

| 学期・月        | 教材名   | 学習活動   |
|-------------|---|--|
| 2<br>学<br>期 | 10<br>○オリエンテーション  | ◇技術・家庭の授業の目標、内容、評価、授業の約束などを知る。<br>○見通しをもち積極的に取り組む姿勢を養う。  |
|             | 11<br>○食生活と自立<br>・食事について考える。<br>・栄養とはたらき<br><br>・食品の選択と保存 | ・家族のためにできる家事を実践する態度を身につける。<br>・食品に含まれる栄養素の種類とはたらきを理解する。<br>・中学生に必要な栄養の特徴がわかる。<br>・1日分の献立を立てることができる。食や行事食のメニューについて考える。<br>・加工食品、生鮮食品の長所、短所を知り、家族の食生活、より良く工夫し、実践する態度を身につける。<br>・食品の表示から、食品の安全について学ぶ。 |
|             | 12<br>・調理実習   | ○調理の基本<br>・包丁テスト<br>・肉の調理 (ハンバーグステーキ)<br>・魚の調理 (煮魚)<br>・野菜の調理 (さつま汁)   |
| 3<br>学<br>期 | 1<br>・課題と実践<br>計画・見直し・実習                                  | ・家族のために弁当を作る。  |
|             | 2<br>・郷土料理  | ・地域の食材の調理を通して、地域の食文化を理解する。<br>手打ちうどん作り   |
|             | 3<br>・身近な「環境」をかんがえよう。<br>○家族・家庭と子どもの成長<br>・ふれ合い体験         | ・安全に・ゴミの分別から、地域の環境について考える。<br>・環境にやさしい生活の工夫を実践する態度を養う。<br><br>・ふれ合い体験の計画・実践・ふり回り   |

評 価

家庭分野 <評価の観点>

- ① 生活や技術への関心・意欲・態度
  - ・授業の取り組みを良くする。(聞く姿勢、話す姿勢、調べる姿勢、作業集中して取り組む姿勢。)
  - ・制作に必要な用具、物を準備して、作業に進んで参加する。
- ② 生活を創意工夫する能力
  - ・作品制作において自分なりに創意工夫して表現する。
  - ・整理整頓に心がけ、作業のしやすい状態を整える。
  - ・生活環境への適切な気配りができるようにする。
- ③ 生活の技能
  - ・衣食住など家庭生活に関する生活をよりよくしようとする改善、努力する態度がある。
  - ・調理用具を利用し、時間内での料理や味付けができる。
  - ・裁縫道具、ミシンなど縫製に関する用具の便利さと安全性に気をつけて使うことができる。
- ④ 生活や技能についての知識・理解
  - ・授業中の記録がわかりやすくまとめることができる。
  - ・自分の作品について、自己評価を行い、今後の学習の参考に生かすことができる。



<評価の方法>

・毎時間の授業への取組(発表や活動内容・聞く・話す・調べる、実践する)、作品の工夫・努力・仕上がり具合、作業記録表、ノート・プリントなどの学習活動、整理整頓、用具機械の安全な使用などの自己評価、他己評価、定期テストなどを基にして総合的に評価する。

授業中

- ① 授業の準備をする。(道具や材料の忘れ物をしないなど授業の約束を守る)
- ② 目的と意欲をもって授業に臨む。学ぶべきところを学ぶ、高め磨く。
- ③ 創意工夫して作品を制作する。

復習

取り組んだ作品、制作物が期限内に完成できるように、「何を」「どうしたらよいか」など、自己評価しながら取り組む。(遅れてる場合、自分でできることを行う。)  
\*自分以外の作品から学び、次の学習に生かす。



※安全で、気持ちのよい授業ができるように、授業の約束は守る。